

大 学 長
短期大学（部）長
各 高 等 専 門 学 校 長 殿
専修学校（専門課程）長
地 域 協 議 会 の 長

独立行政法人 日本学生支援機構
グローバル人材育成部

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～
留学期間 1 年未満の海外留学について

「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～」（以下、「本制度」という。）においては、令和 3 年 6 月 15 日付け 3 文科高第 333 号「日本人学生の海外留学について（周知）」のとおり、一定の要件下で、奨学金等の支給を再開しましたが、令和 4 年 2 月 4 付け文部科学省事務連絡「日本人学生の 1 年未満の海外留学について（周知）」のとおり、留学期間が 1 年未満（実際の派遣期間 9 ヶ月未満）の留学計画についても、外務省の感染症危険情報レベル「レベル 2：不要不急の渡航は止めてください。」又は「レベル 3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」の国・地域に派遣する学生についても、下記にて、各大学等において学生の安全確保に万全を期していただくことを前提に、奨学金等の支給を認めることとします。

記

1. 対象者

- ・本制度で採択された学生

2. 対象期間等

(1) 対象となる留学計画開始時期

留学計画が当通知日以降に開始されるものであること

※ 当初より支給予定であった月額奨学金の総額に増額はありません。

(2) 対象国・地域

新型コロナウイルス感染症の事由により、感染症危険情報レベル「レベル 2」又は「レベル 3」となっている国・地域

【留意点】

- ・上記取扱いを踏まえ、外務省の感染症危険情報レベル「レベル 2」又は「レベル 3」の国・地域への渡航を希望する場合は、各大学等において、事前に、別紙「新型コロナウイルス感染症の影響により感染症危険情報レベル 2 以上に指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目」の内容を各派遣留学生全員に周知し、理解させてください。
- ・留学計画の変更を希望する派遣留学生については、再審査を伴う「変更申請」が必要となることがあります（採択時の申請内容と比較し、留学計画全体の質の担保について、内容の審査を実施します）。

3. 一時帰国中の学生の再渡航に対する支援

令和2年7月31日付報道発表にてお知らせしたとおり、派遣留学生の経済的負担軽減のための再渡航の支援を行います。詳細の手続き等については別途各大学等へ連絡します。

4. 既に辞退した派遣留学生の取扱いについて

留学を再考したい場合、一定の期限内に、既に提出済みの「辞退届」の取り下げを認めます（既に承認されたものも含みます）。詳細の手続き等については別途各大学等へ連絡します。

なお、本通知は、新型コロナウイルス感染症の影響下における感染症危険情報レベル「レベル2」又は「レベル3」の国・地域への学生派遣について推奨するものではありません。本手続きを行う場合は、現状況で留学することへの危険性について理解し、安全面や危機管理について、十分検討した上で、手続きいただきますようお願いいたします。また、渡航に当たっては、渡航先の感染状況や感染防止策、感染した場合の現地の医療体制の確認のほか、帰国時の防疫措置の把握、帰国ルートの確保、保険加入の徹底など、学生の安全確保に万全を期してください。

以上

<本件に関するお問い合わせ>

トビタテ！留学 JAPAN 事務局

【メール】kanminryugaku@mext.go.jp （申請内容・手続きについて）
tobitate-scholarship@mext.go.jp （奨学金等の支給について）

- ※ メールの返信には数日を要することがあります。あらかじめご了承ください。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、当事務局においても引き続き在宅勤務等による勤務を実施しております。つきまして、事務局へお問い合わせは、原則、メールにてお願いいたします。何卒、ご理解、ご協力の程、お願い申し上げます。

新型コロナウィルス感染症の影響により感染症危険情報レベル2以上に指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目

- (1) 留学先国・地域における最新の感染状況を把握している。
- (2) 留学先国・地域への渡航手段がある。
- (3) 留学先国・地域に入国する可否及び入国に必要な手続きについて申請中又は完了している。
- (4) 留学中の疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険又は現地の保険に加入している。
- (5) 留学先国・地域への入国時における水際措置及び入国後に取るべき行動について把握している。
- (6) 留学先国・地域で感染の疑いが生じた場合、濃厚接触者として指定された場合、感染した場合に留学先国・地域において取るべき行動及び相談先を具体的に把握している。
例：
 - ・相談できる機関
 - ・検査できる機関
 - ・受け入れ可能な医療機関
 - ・滞在先
- (7) 留学先国・地域で必要な生活物資が確保できる。
- (8) 留学先大学等において留学生の受け入れ体制が取られている。
- (9) 留学先大学等において学修を継続するための防疫措置がとられている。
- (10) 留学先国・地域における感染拡大抑止のための法令(マスクの着用等)を把握している。
- (11) 今後、留学先国・地域において(再)流行した際に取るべき対応をシミュレーションしている。
- (12) 留学先国・地域に渡航しないと当初の留学目的が達成できること。
- (13) 感染症危険情報レベル2以上(レベル4を除く。)での渡航において奨学金等が支給対象となる今年度の特別措置は、新型コロナウィルス感染症の影響に限定した取扱いであることを承知した。